

## 今年こそ 老朽原発の廃炉！そして原発のない世界へ！ 福井県知事は老朽原発の稼働を停止させるべきだ！ 関電の「工程表」は実効性のない「ごまかし計画」だ！

関電は福井県に対して、使用済み核燃料の県外搬出を「実行できなければ40年超原発3基を止める」と約束してきた。県は前回の「工程表」に対して「覚悟が示された」として、運転継続を認めたが、約束は六ヶ所再処理工場の完成延期で破綻し、福井県の怒りをかい、関電は年度内に「工程表」を提出すると約束した。知事は「新しい『工程表』の実効性が確認できなければ老朽原発の運転できない」と述べてきた。

### フランスへの積み増しだけで新味のない「工程表」

13日に関電から福井県に提出された「工程表」は前回のフランスへの200トンを搬出に加えて、30年以降にも200トンを追加で搬出するというだけの新味のないものである。原発付属の使用済燃料プールを満杯にしないための数合わせだけである。

再処理工場が26年度に完成するのは、耐震補強の問題から無理だと言われている。

使用済MOX燃料のフランスへの搬出には高熱・高放射線の搬送システムが必要であるが安全性などが問題であり、まだ開発されていない。

中間貯蔵システムの2030年ころの操業開始については、「むつ中間貯蔵施設の共同利用」も「上関中間貯蔵立地計画」も現実的可能はない。関電の資料にも具体的には書かれていない。

### 福井県知事は老朽原発の稼働を停止させる決定を

福井県知事は「工程表」に実効性がなければ、稼働から40年以上の美浜3号など3基の老朽原発の稼働を認めず、原発敷地内に使用済燃料の貯蔵施設の増設も認めないとしている。

今回 関電が提出した「工程表」は上記でも明らかのように「実効性」のないものである。政府は老朽原発の50年以上の稼働を実現するために、いろいろな条件の提供と、稼働への圧力をかけている。

福井県、そして兵庫県、京都府、滋賀県の住民の健康と安全を守るためにも、老朽原発の稼働は停止すべきである。福井県知事と県議会議員、そして各自自治体に、「関電の工程表を拒否して、老朽原発の稼働停止すること」を要求していこう。

2026年度	27	28	29	30	31	32	33	34	35
六ヶ所再処理工場(青森県)	完成								
関西電力からの使用済み核燃料搬出量	78	66	54						
高浜原発からフランスへ搬出 (オラン社への搬出200トン+100トン。残り100トンは大飯原発からの搬出も含め検討)	70	70	60	100					
中間貯蔵施設	中間貯蔵施設操業								

### 東海第2原発で、また火災が発生

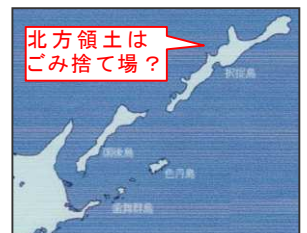
日本原電が保管し、再稼働を目指している「東海第2原発」で2月4日に**中央制御室の制御盤から火災が発生**した。火はすぐ消し止められたが、当日は原子炉内の中性子測定装置の稼働確認が行われていたため、その関連を含めて火災原因が調査されている。同原発では昨年度にブレーカーから火花が出たり5件の火災が発生している。茨城県、東海村から厳重注意を受け、昨年末に対策を行っていた。

### 英国 プルトニウムを地中廃棄へ 再処理後の100トン超を廃棄

英国政府は使用済核燃料などから再処理したプルトニウムのほぼ全量 100トンをセラミック等で「固定化」して地中廃棄すると発表した。英国も日本と同様にプルトニウムをMOX燃料とする計画で工場を建設したが2011年に閉鎖し使用予定のないまま保管。英政府は「**長期保管は、将来世代に安全保障リスクと核拡散の危険を残す**」として地中廃棄することを決定した。資産とされてきたプルトニウムはゴミとなった。日本委託22トンの処理は未定。日本は他に仏には14トン、国内に8.6トン在庫している。

### 北方領土への核のゴミの処分

資源エネルギー庁と原子力発電環境整備機構(NUMO)が1月23日に都内で開いた「核のゴミ処分場の文献調査の説明会」で、参加者が「**処分場を北方四島に建設**してはどうか」と提案したのに対して、NUMOの理事が「**一石三鳥四鳥**」と答え、エネ庁幹部も「**実現すれば魅力的な提案**。ただ、現実的には難しい」と発言した。後日、これに対して北方四島の旧島民から批判が集中し、31日には根室市で、「**不用意な発言**」と陳謝した。国会でも石破首相は「**絶対にあってはならない、緩みやおごりがあった**。政府の責任者として深くお詫び申し上げます」と陳謝した。



### 福島第一タンク解体開始へ(朝日 1/25)

東電は21基の解体をはじめめる予定である。2023年8月の放出開始から1年半で7.8万トンを放出して、減ったのは4.9万トン。新しい汚染水が今でも1日80トン増えるのであまり減らない。今の残量が129.6万トンなので、このペースだと約35年。東電の担当者は「まずは28年度までの目標に向けて進める」と空念仏。

### イスラエル政府 UNRWA の活動禁止(朝日 1/31)

国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)のイスラエル国内での活動を禁止する法律が30日に施行。法律は政府機関がUNRWAとの接触をすることも禁じており、結果的にガザを含むパレスチナ自治区での活動が出来なくなる。UNRWAはイスラエル建国で住居と生計を失った人々と子孫のパレスチナ難民約590万人に支援を行っている。国連安保理でもほとんどの国が活動継続を主張したが米国はイスラエルを支持。

### 実質賃金は3年連続でマイナス(朝日 2/6)

厚労省の毎月勤労統計調査(速報)によると2024年度平均の「実質賃金」は物価上昇の結果マイナス0.2%となった。23年度がマイナス2.5%で3年連続してマイナスとなった。24年度の賃金上昇は従業員30人以上では物価上昇を上回ったが、小規模事業所では賃金上昇は少なく、また一時金も低額である。

### 「核兵器をなくす国際市民フォーラム」(朝日 2/6)

3月に「核兵器禁止条約第3回締結国会議」が米国で開かれる。それに向けて日本国内で上記の集会が開催される。冒頭で日本被団協の田中代表委員が「被爆80年、最後の節目」との講演を行う。フォーラムには幅広い世代の参加が予定。「締結国会議」には広島や長崎などの市民団体も多く参加する。日本政府もオブザーバーで参加すべきである。

### 森友改ざん訴訟逆転勝訴！上告断念(神戸 2/7)

1月30日に大阪高裁は「森友学園に関する財務省決裁文書の開示請求」を認めなかった地裁の判決を逆転し、「不開示決定」を取り消した。政府は6日に首相指示もあり、「最高裁への上告」を断念し、財務相は文書の存在を認めた。赤木さんは文書開示に期待し、「黒塗りせずに開示する」ことを財務省に訴えた。財務省は隠すことなく全面開示すべきである。

## 米トランプ大統領によるガザ全住民の域外移住(ナクバ攻撃)を許すな！

2月4日トランプ米大統領はイスラエルのネタニヤフ首相との会談でガザの全住民をエジプトやヨルダンに域外移住させ、ガザを米国が所有し、中東のリゾート地にして世界の人々が住むとの構想を発表した。ネタニヤフ首相はこれを注目に値するとした。

1948年の「イスラエル建国」(ナクバ)によって故郷や居住地を奪われた100万人近いパレスチナ難民、パレスチナ国家を求めイスラエルの不条理な攻撃と闘うパレスチナの人々をガザから追い出すこの提案は第2の「ナクバ」攻撃である。この提案にはパレスチナ、アラブ諸国は即刻拒否を表明し、世界の国々が反対している。世界からの反発に対して、「ガザの所有は一時」などと手直しをしているが、住民を域外退去させる政策はイスラエルでも具体化しておりガザの住民は極めて厳しい状況におかれている。

### 報告 2/11 「建国記念の日」反対集会とデモ



2月11日、建国記念の日に桜井智恵子さんを迎えて反対集会が行われ、約200人が参加。講演と各地の闘いが報告された。集会後にナンバまでデモ行進。

### 案内 2/18 県民のための兵庫県政を取戻そう



斎藤知事が「再選」されて2カ月半、公選法違反容疑で家宅捜査、18日には本会議が始まり、百条委の報告も！県庁を取り囲む「人間の輪」で「県民のための県政、民主主義による県政」を求めていこう！ 県庁2号館南 2月18日 11時30分～13時

### 案内 2/22 戦争止めよう！沖縄・西日本 ネットワーク結成集会 in 鹿児島



急速に自衛隊基地強化など有事を想定した戦争準備が進んでいる。中国の脅威を煽り立て、沖縄、九州から全国を戦場にしようとしている。全国各地の闘いをつなぎ、拡げるために「ネットワーク」を発足させる結成集会を開催。 日時:2月22日(土)13時30分より 場所:鹿児島県 よかセンター鹿児島

### 案内 2/23 天皇誕生日祝賀反対！天皇制廃止！



2月23日の「天皇誕生日」祝賀行事に反対する集会とデモ。 講演:皇位継承問題と日本社会のゆくえ 講師:桜井大子 反天ジャーナル編集委 日時:2月23日(日)14時より 場所:エルおおさか南館101号 集会後:デモ行進が行なわれる。 主催:参戦と天皇制に反対する連続行動

### 案内 2/24 第9回わだつみ会オンライン講座 「近代日本と欧米の徴兵拒否・忌避」

日本戦没学生記念会(わだつみ会)の主催するオンライン連続講座の第9回講座です。 日時:2月24日(月)14時より ZOOM 申込み先 20日まで info@wadatsumikai.com 講師:三上真理子 (国士館大学ほか非常勤講師) 「近代日本と欧米の徴兵拒否・忌避」 参加費:無料、「後日配信」可能

### 案内 3/1 第7回東アジア領土教育研究集会



「日清・日露戦争と領土問題の始まり」:久保井規夫 「君死にたまふことなかれと日比谷焼打ち事件」:黒田伊彦 展示:戦争の実相と地政学的位置 日時:3月1日(土)13:30~16:30 場所:大阪国労会館1階多目的ホール

# わだつみ会オンライン 連続講座(第9回)

日時:2025年2月24日(月・休日)  
14:00~16:30

講座:「近代日本と欧米の徴兵拒否・忌避」  
講師:三上 真理子さん  
(国士館大学ほか非常勤講師)

## ZOOM 参加の申し込み手順

- ◆ZOOM 参加をご希望される方は2月20日までに、お名前とご住所、個人名・所属団体等を連絡ください。  
申込み [info@wadatumikai.com](mailto:info@wadatumikai.com)(永島)
- ◆当日参加の都合の悪い方は「後日配信」が可能です。
- ◆申込者には、2月22日に、URL とパスワード、資料を送付
- ◆オンライン連続講座の参加費は無料です。
- ◆カンパにご協力いただければ幸いです。  
郵便振替口座:00170-0-161293 わだつみ会
- ◆ZOOM の入室は、24日午後 1 時30分から可能です

日本戦没学生記念会 (わだつみ会)  
連絡先:事務局長 永島 昇 電話 090-3161-8677